

発見



ファミリーサポートセンター

今回、代表の杉原佳乃すぎはらかのさんに会員さんの登録状況や今後の取組について伺いました。

自分やったらこういうのであれば利用したい

町からの依頼を受け、2016年4月にファミリーサポートセンターを立ち上げられた杉原さん。「利用しにくいものだ」と意味がないと思うので、この町に住んで子育てをしている立場で、『自分やったらこういうのであれば利用したい』という思いを大切に、サービスを考えました」と、設立されるにあたり大切にされていたことを話してくださいました。

その言葉どおり、利用料が他市町と比べて安く設定されていたり、利用できる年齢も

0〜15歳と幅広く設定されています。「日野町は子どもさんが移動したいとなると、保護者が送迎をしないといけない。そうなったときに、保護者がわざわざ仕事を休んでするかと考えるとそれも難しい。そういう側面からも利用できる年齢を幅広く設けました」と話してくださいました。

協力会員の多くは、現在子育て中の方

現在の会員数は、依頼会員が187名、協力会員が61名で、うち33名はどちらにも登録をされています。依頼件数は毎月50件ほどで、他市町と比べかなり稼働率が高いそうです。

協力会員の多くは、現在子育て中の20〜40代の方がほとんど。その理由について「例えば幼稚園にお迎えが必要だとなったときに、同じ幼稚園に通っている保護者の方に自分の子どものついでに迎えに行ってもらうのはどうだろう?」と思い、協力会員への登録を依頼すると、『普段から迎えや、お友だちが家に遊びに来たりして慣れてるから良いよ』とこちらが想定していたよりも低くハードルを設定してくださいました。同じ

ワールドにいる人にしてもらった方が、保護者同士の関係もできたり、お子さんもほかのお子さんがいることで緊張せずに過ごしてもらえたり等多くのメリットがありました。あくまでボランティアなので協力会員さんが無理なく協力できるようにと思っています」と話してくださいました。

今後の取組

「今はコロナでなかなか外出するのも難しくなっている中で、インスタグラムで離乳食の作り方などを引き続きアップしていきたいです。また、保護者の方が自身の体や健康のことを考えていただく機会や、子ども達が性的ことについて考えたり相談したりできる機会をつくりたい」と話してくださいました。

子育て中の応援隊のひとつとして、これからの活動がますます楽しみです。

ファミリーサポートセンター
☎080-9752-11515

滋賀県スポーツ推進委員協議会 功労者表彰を受賞



▲左から藤澤祥己さん、高橋亜津子さん、吉澤典昭さん ※西村保子さんは欠席

8月30日(日)に開催された滋賀県スポーツ推進委員協議会功労者等表彰式で、西村保子さん、藤澤祥己さん、高橋亜津子さん、吉澤典昭さんの4名の方が「滋賀県スポーツ推進委員協議会功労者表彰」を受賞されました。

この賞は、スポーツ推進委員として10年以上、地域のスポーツ振興に貢献された方に贈られるものです。受賞者の皆さんは町のスポーツ振興に長年ご尽力いただいています。おめでとうございます。

100歳

おめでとーございます

豊田3区 池元 いけもと モトさん(8月3日生)
大窪5区 上林 かんばんし 奈加さん(8月31日生)

8月に2名の方が100歳のお誕生日を迎えられましたので、お名前とお誕生日をご紹介させていただきます。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください(今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町長をはじめ関係者の訪問は差し控えていただきました)。

ひのこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や、特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

西大路幼稚園

【教育目標】 にこにこ しっかり おおきなじしん
～豊かな心もち、いきいきと生活する幼児の育成～

本園は、3歳児4名、4歳児8名、5歳児7名の小規模園です。1学期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対外行事を行わず園内での遊びを満喫しました。繰り返し遊びを経験するなかで、仲間とつながる喜びと共に、好奇心や探求心につながる遊びが繰り返されました。

～コロナに負けず、 元気に水遊び～

～動植物の発見～



今年もいろいろな小動物が赤ちゃんを産みました。小さくても命あるものを皆で囲み気持ちを共有し、それぞれの姿を学ぶ楽しさを知り、命への思いが育ったように感じました。

玉ネギ、ジャガイモ、ソラ豆、キュウリ、ナス、ゴーヤ、トマト、ヒマワリ、アサガオなど、たくさんの植物の生長を見ました。



クレープ紙で色水遊び。どんどん変化のおもしろさにどっぴりはまる3歳児



掘って、ほって、気がつけば砂場がプールに大変身。5歳児の発想は、すご・い



「大きなシャボン玉を作るぞ!」という目的に向かって、ひたすら石鹸を削り泡立てました。やったー!!



スリル満点築山ウォータースライダー。4歳児みんなで滑るからとっても楽しい☆

必佐幼稚園

【教育目標】 わくわく、にこにこ、のびのび遊ぶ必佐っ子の育成

本園には、今年度3歳児21名、4歳児29名、5歳児34名の合計84名が通園しています。『やってみよう』『もう一回』『きっとできる』を合言葉に、子ども達が心を動かし主体的に遊ぶ姿を大切にしています。

安心できる居場所! (にこにこルーム)

預かり保育もすっかり定着し、今年度は30名の子ども達が元気いっぱい過ごしています。異年齢児が共に過ごす家庭に近い環境の中で、互いのさまざまな刺激や優しい関わりから、育ち合っています。



にこにこルームの3時のおやつ

遊びは学びのチャンスがいっぱい!

集団生活で友だちと共に過ごす経験から感じる一つひとつが、子ども達にとって大切な学びの場になっています。自分で感じ、自分で気づき、自分で行動に移す心が動く姿を大切にしています。



砂場での川づくり

共に学び合う集団作り!

異年齢・同年齢の 友だちとの関わりを通して

友だちからの刺激を受けたり、思いや考えを伝えたり聞いたりして同じ目的に向かって協同的に活動に取り組むなかで、たくさんの事を学び合い生きる力をつけています。また、憧れやいたわりの気持ちが育つように、異年齢児との関わりを大切にしています。友だちと一緒にだからこそ、共に考え、多様な考えに触れることができます。



5歳児の七夕コンサート

◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583